

# 東葛モラルアップ通信 ・ 令和3年10月号



「チーム東葛飾 すべては子どもたちの未来のために！」

～東葛飾教育 新たなるスタート～

東葛飾教育事務所・モラルアップ推進会議



## 今月のテーマ 「交通事故」

令和3年度もいよいよ後半となりました。毎日の通勤や出張、部活動、そして休日など、自家用車や自転車等利用して出かけることがあるかと思えます。特にこの時期は季候も良く、休日に外に出かける機会も増えてくるのではないのでしょうか。

今月のテーマ「交通事故」は、誰もが気をつけていても、事故に遭ったり、起こしたりしてしまうものです。誰も確率が「0」ではありません。だからこそ、日頃からの心がけや、万が一事故が発生してしまった場合の必要な行動を理解しておくことが大切です。

事故発生！！

あなたはどんな行動をしますか。  
「もしも」を想定しておきましょう。

☆ 交通事故を起こした当事者が、事故直後に直ちに行わなければならない措置については、**道路交通法第72条**により定められています。

### 1. 運転を停止する。

何か異変を感じたら、車を停車させ、死傷者の有無、衝突物や車の破損状況を確認。

### 2. 負傷者を救護する。

必要な応急処置、救急車の手配、必要であれば近くの病院へ運ぶなどの対応。

※救護措置をとらず、現場を立ち去るとひき逃げ（救護義務違反）となり処罰される。

### 3. 危険防止措置をする。

第二、第三の事故防止のため、車を速やかに安全な場所へ移動。

場合によっては、車の誘導なども必要。路肩など通行の邪魔にならない場所で待機。

### 4. 警察へ連絡する。

事故発生時直ちに110番の連絡。現場は離れず待機。

負傷者の救護などが必要な場合は、現場通行者に通報を依頼しても良い。

（警察への連絡事項）

○交通事故が発生した日時と場所。 ○死傷者の数と負傷者の怪我の程度。

○破損したものとその破損の程度。

○その事故に関わる車両の積載物と事故についてとった措置。

### 5. 現場証拠を記録する。

スマートフォンやカメラで出来るだけ状況写真を撮影、記録。

### 6. 管理職へ報告する。

#### (4) 飲酒運転以外での交通事故

- イ ひき逃げにより、人を死亡させ、又は傷害を負わせた職員は、**免職**とする。
- ウ 過労運転又は無免許運転により、人を死亡させた職員は、**免職**とし、傷害を負わせ、又物損事故を起こした職員は、**免職又は停職**とする。
- エ 速度超過(30キロメートル(高速道路にあっては40キロメートル)以上)違反により、交通事故を起こした職員は、**免職、停職、減給又は戒告**とする。

#### (5) 交通法規違反(発覚)

- イ 過労運転又は無免許運転をした職員は、**停職**とする。
- ウ 速度超過(30キロメートル(高速道路にあっては40キロメートル)以上)違反をした職員は、**停職、減給又は戒告**を行う場合がある。

#### 過去の処分事例



教諭は自家用車を運転し、高速道路上を走行中、制限速度が毎時100キロメートルのところを、毎時168キロメートルで走行し、毎時68キロメートルの速度超過をしたところ、速度違反自動取締機による取り締りを受けた。

→ 教諭は「**戒告**」の懲戒処分。履歴に懲罰として記載された。

#### 安全運転してますか？

あなたは大丈夫ですか？(セルフチェック)

- 常に許す心、穏やかな気持ち、広い心で運転できていますか。  
運転中は違反やマナーが悪いドライバーや自転車、歩行者がいますが、イライラするのは危険です。
- 横断歩道(信号のない)で、歩行者を優先し、一時停止を心がけていますか。  
道路交通法第38条で、横断歩道等は歩行者が優先と示されています。
- 自分は運転が上手いと過信していませんか。  
自信過剰な人の運転ほど、同乗者は危険を感じ、事故を起こしやすい傾向にあります。
- 疲れている状態で運転していませんか。  
万全の体調で運転しないと、集中力や注意力、判断力が鈍ります。無理せず、疲れが出てきたら休憩しましょう。(2時間で10分、その後1時間ごとに10分以上が目安)
- 「~かもしれない」で運転していませんか。  
道路状況は刻一刻と変化します。楽観的に解釈したり、予測したりせず、常に「~かもしれない」とネガティブ思考が求められます。
- 「ながら運転」していませんか。  
スマホなどを使用する「ながら運転」は大きな社会問題で、厳罰化されています。また、食べながら、化粧しながら、ひげを剃りながらの運転は、「ながら運転」の定義とはなりません。事故を起こせば安全運転義務違反です。

自家用車は大変便利な道具ですが、一歩間違えれば人にとっての凶器となります。常にそのことを意識し、運転することが必要です。一人一人の意識が大切です。